

1 学 年 通 信 「cooperation」 (HP同時配信)

◆ 後期期末考査に向けて (準備開始) ◆

1 授業を休まない

各教科・科目の授業が出題の中心になることはいまでもありません。休むとその部分が変わらない、できない、という状態になり、とても苦勞することは知っていると思います。体調が悪いとか病気である等の理由であればやむを得ないと思いますが、それ以外の理由(寝坊した、忘れ物をしたなど)で授業を休まないようにしましょう。これは考査だけではなく、最終的に「進級」できるかどうか(出席時数が不足していないか)にもつながります。各自が注意しましょう。

2 学習準備をする

当たり前ですが何も準備しないで考査を受けると、その結果はたいへんな事になってしまうだけです。復習をしてわからなかった部分を少しでも減らす、という努力が絶対に必要です。時間は限られていますので、きちんと計画を立てて準備を怠らないようにしましょう。また、今回も「学習記録表」が用意・配布されています。その用紙へ記入することで、自分の学習時間や復習の度合いがわかります。必ず毎日記入し、指定された日に提出しましょう。

3 提出物や宿題、小テストをしっかりと

普通の授業では課題の提出があったり、宿題が出たり、小テストを実施する教科・科目があります。これらは成績を決める重要なファクターにもなります(学習成績は考査だけで決まるものではない)。日常の学習の積み重ねの一つとして、しっかり取り組んでください。課題の未提出や小テストの不振は、結局のところ自分自身がたいへんになるだけです。そうならないようにしっかりとやりましょう。

4 アルバイトは休む

アルバイト許可の用紙にも記載がありますが、考査前はアルバイトをしない(休む)のが許可条件になっています。職場によっては「ちょっとお願いできないか?」と言われるケースもあるかも知れませんが、そこは自分のために時間を確保しましょう。安易に受け入れると考査の学習準備ができないだけでなく、アルバイトそのものを継続できない(ルール違反または成績不振で不許可になる)ことになります。学校生活が何よりも優先です。間違えないように。



★ s k i 授業 お疲れさまでした ★



3回目の「s k i 授業」を1月29日(水)に行いました。3回目は夕張のスキー場に行き、テストと自由滑走の2本立てで1日を過ごしました。今年の「s k i 授業」はこれで終了となりますが、皆さん楽しくできましたか?スキーが苦手な人もこれをきっかけに少しでもスキーの楽しさを味わえたなら、と思います。また来年も頑張りましょう!!